

県都の中心街に活気を

岐阜市でシンポ、官民が活動紹介

岐阜市中心市街地の活性化に向けた各自の取り組みを紹介する行政・企業関係者＝同市金町、市文化センター＝



岐阜市中心市街地の活性化を考える「市中心市街地創生シンポジウム」が27日、同市金町の市文化センターで開かれ、同市の企業や行政関係者が、地域のにぎわい創出を目指し、意見を交わした。(高橋友基)

回遊性高める方策探る

地元の商店街振興組合などでつくる「岐阜市中心市街地回遊性協議会」が主催。JRと名鉄の岐阜駅から玉宮町、柳ヶ瀬、7月に開館する複合施設「みんなの森さふメディアコスモス」までの各エリアの回遊性を高める方策を探った。

行の太田裕之常務、岐阜信用金庫営業統括部の西垣和也部長代理、岐阜高島屋の松室伸生社長をパネリストに迎え、市中心市街地活性化の取り組みを紹介。

また、西垣部長代理は同金庫の地域貢献活動を挙げ、「今後も岐

佐藤副市長は、市街地再開発事業などの状況を説明し「居住人口の増大を進めたり、まちなかを楽しく歩けるような施策が必要」と話した。

また、松室社長は「来店客数を増やし、地域貢献し